

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築				整理番号	207		枝番号				
担当部課名		保健福祉部子育て支援課		コード	092301		連絡先電話番号	1363		昨年度整理番号	199		
係名					計画推進担当					上位施策名		No	
予算事業名					児童館改築					コード		44350	
事業開始年度					○ 昭和 ● 平成		10		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
事務事業の概要	事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条他 (2) 児童福祉施設最低基準 (3) 児童館の設置運営について(厚生事務次官通知)他					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	狭隘な荻窪児童館(学童クラブ含む)の移転改築を行う。 当児童館は、都営住宅と併設であるため、設計・建築を東京都住宅局に委託する。平成13年度設計、15年度着工、17年3月竣工。 17年度は旧児童館の解体工事。					狭隘な現児童館を移転改築することにより、規模の拡充と設備の充実を図る。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 工事出来高(荻窪児童館)					(1) 改築終了率 = 改築終了館数 / 改築計画館数(3館) × 100								
(2)					(2)								

  

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
指標	活動指標(1)	%	30	100	100	100						
	活動指標(2)	%										
	成果指標(1)	%	33	67	67	67				100	67.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	545,383	138,468	4,493	4,831					<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度の事業費は、旧児童館の解体経費等である。	
	(内)投資的経費等	千円	545,383	138,468	4,493	4,831						
	(内)委託費	千円	126,487	129,668	4,441	4,400						
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.90   0.00	0.50   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,095	4,550	906	906			0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	553,478	143,018	5,399	5,737			0			
	単位あたりコスト( - )÷	円	269,833	45,500	9,060	9,060						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金	千円	36,560	28,697	0	0					
特定財源計 +		千円	36,560	28,697	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	516,918	114,321	5,399	5,737			0			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	区立荻窪児童館解体工事(委託等)		1	式	4,400
	区立荻窪児童館物品移転(委託等)		1	式	263
	区立荻窪児童館非常通報装置移設(委託等)		1	式	154
	区立荻窪児童館臨時電話回線設置(委託等)		1	式	14
	その他	( )			0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	107.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		児童館改築の予定は、20年度以降の大宮児童館までないが、今後は児童館のあり方検討会の結論を踏まえた児童館の整備について検討していく必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	都営住宅と併設となる荻窪児童館の改築は、東京都住宅局に委託している。着工は13年度に予定していたが、地元住民との調整のため15年度着工に計画を変更し、16年度に予定通り竣工となった。17年度に旧児童館を解体した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現児童館(学童クラブを含む)を利用している子どもたちの保護者を中心に設備や運営など幅広い分野に多数の要望が出され、学童クラブの待機児解消や障害児の受け入れなどが挙げられた。また、乳幼児やその保護者を対象とした遊戯や交流の場の設置も要望としてあった。					
	今後の予測	学童クラブを希望する児童は今後も増えていくことが予想される。今後の改築には学童クラブ室を需要に応じて柔軟に対応できるような配慮が求められる。また、ユニバーサルデザインの考え方に基づき障害児(者)を含むだれにでも利用しやすい施設整備が求められていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:学童クラブの需要や乳幼児の利用促進、障害のある子どもにも利用しやすい施設の整備、施設規模の拡充等により、より多くの児童・保護者に利用されることが想定され、地域における児童健全育成事業の中核としての機能を果たせる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:施設の老朽化が進んでおり、児童館の整備による成果をあげていくためには、経費を増やす必要があると考えられる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 児童館は児童福祉法に定める児童厚生施設であり、児童に健全な遊びを与えて、その健康増進や情操を豊かにすることを目的とした18歳未満の施設である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:児童館の場合、PFI方式の導入などによりコストを下げることは困難である。また、施設の老朽化が進んでおり、施設整備の経費は増加が見込まれる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 施工を東京都住宅局に委託して実施した。 PFI方式を導入してもメリットが見出せない現状では、現行の設計及び施工を業者に請け負わせる方を継続することが基本となる。ただし、設計段階に保護者に参画してもらうなどの協働の形を実現していくことが必要と考えられる。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入						
19年度方針	(2) 理由 荻窪児童館は、17年度に解体工事を行い、事業を完了した。19年度は児童館改築の計画はないため、予算はない。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ整備				整理番号	208		枝番号			
担当部課名	児童青少年課		コード	092701		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	200		
係名 管理係			上位施策名						No			
予算事業名 学童クラブ整備			コード	44550		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			16 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1) 児童福祉法第6条								
	松ノ木小、高円寺東、宮前北学童クラブ			(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した学童クラブを、障がい児にも配慮したバリアフリーを施した、安全で安心な施設に改築する。 育成室を整備し、登録児童数の受入れ増加・安全で安心に対応できる施設に改修する。			(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱								
活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
(1) 改築施設数			老朽化した施設を改築・改修して、快適な施設運営を行なう。									
(2) 改修施設数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
			(1) 整備率 = 整備済み施設 ÷ 全施設(47所) × 100									
			(2)									
区分	単位	15年度までの実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画		実績						
指標	活動指標(1)	所	1	2	1	1	0	4	25.0			
	活動指標(2)	所	1	1	3	2	0	14	14.3			
	成果指標(1)	%	4.3	6.4	8.5	6.4	0	33.8	18.9			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円		15,194	72,829	68,611	0	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 児童館の改築を伴う場合は、「児童館改築」事業(児童館の整備)を含む。				
	(内)投資的経費等	千円		15,194	71,334	67,118	0					
	(内)委託費	千円		0	0	0	0					
	職員数(常勤   非常勤)	人		0.30   0.00	0.30   0.00	0.30   0.00	0.00   0.00	17年度までの累計実績数値 「活動指標 4」 「活動指標 4」 17年度当初の申請数が目安数を超過しているクラブが8館				
	人件費	千円	0	2,730	2,718	2,718	0					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	0	17,924	75,547	71,329	0					
	単位あたりコスト( - )÷	円	0	1,365,000	4,213,000	4,211,000						
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円			0	10,474	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	10,474	0					
差引:一般財源 -		千円	0	17,924	75,547	60,855	0					
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0							
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)						
	松ノ木小学童クラブ改築			138.41	m <sup>2</sup>	22,712						
	宮前北学童クラブ改修			126.63	m <sup>2</sup>	26,960						
	高円寺東学童クラブ改修			108.76	m <sup>2</sup>	18,939						
	その他 ( )					0						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	66.7	17年度予算執行率%	94.2
		当初予算では、松ノ木小学童クラブの改築経費のみ計上されていたが、高円寺東及び宮前北小学童クラブの登録児童数の増に伴い、補正予算により整備を行なった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		松ノ木小学童クラブ面積 82.34㎡ 138.41㎡ (定員 45名 60名) 高円寺東小学童クラブ育成室面積 77.48㎡ 108.76㎡ (目安数 50名 66名) 宮前北小学童クラブ育成室面積 65.00㎡ 126.63㎡ (目安数 59名 77名) となった。 なお、18年度は予算計上されていない。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	16年度は新泉学童クラブ、17年度は松ノ木小学童クラブをバリアフリーに対応した施設に改築した。また、高円寺東及び宮前北小学童クラブの育成室については、登録児童数の増に伴い改修した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成17年2月に行った、「学童クラブ保護者アンケート」の集計によると、登録児童数に応じたスペースを確保してほしいとの要望があった。					
	今後の予測	老朽化・狭隘した施設をユニバーサルデザインの考え方を視野に入れ、障がい者(児)を含む誰でもやさしい施設として整備していく。併せて、18年から検討している児童館等のあり方検討会の検討結果及び国が発表した「放課後子どもプラン」の動向を見極めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 障がい者(児)に対応したバリアフリー化した施設に改築できた。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:17年度から実施した学童クラブ登録制により、既存の育成室だけでは、受入れが不可能な施設が生じているので、児童館機能を損なわない程度の施設の改修を早急に行なう必要が生じてきている。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 施設整備は、行政の役割である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容:学童クラブだけではなく、児童館等を含めた一体的な運営を施設の整備の中に取り入れるることにより、コストの削減が図ることができるかを今後検討していく。					
	(5) 協働等による成果と課題 設計・施工を一体で行なうことにより、施工時のコスト削減を図り、かつ請負者が得意なプランで設計が可能となり、使い勝手の良い施設建設を行なうことができた。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )						
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 登録制実施に伴う受入数の増加に対応するため、育成室の拡充を図る必要が生じた施設を早急に整備して、安全で安心な保育が実施できるようにしていく。また、障がい児をはじめ、だれでもが快適に過ごすことができる施設を整備していく。さらに、現在検討を進めている「児童館等のあり方検討会」の報告及び国から提示された「放課後子どもプラン」の動向を見極めていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	18年度当初予算の計上はないが、育成室が手狭になってきた施設を児童館機能を損なわない範囲で活用していく必要が生じているため。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年問題協議会				整理番号	384		枝番号			
担当部課名		保健福祉部子育て支援課		コード	092301		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	374	
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		30年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方青少年問題協議会法					
	区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人						(2) 杉並区青少年問題協議会条例					
	区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人						(3) 杉並区青少年問題協議会要綱					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区の附属機関で、区長が会長となり青少年の指導、育成、保護、矯正等健全育成に関し審議する。 委員数 23人		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 審議をもとに青少年の健全な育成を図る。						
活動指標名(式)				(1) 開催数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区内非行件数 (2)						

  

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
指標	活動指標(1)	回	3	3	3	4	3					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	491	405		366	345					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	486	553	724	846	684	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.45   0.00	0.20	0.20   0.00	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,047	1,820	1,812	1,812					1,812
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +	千円	4,533	2,373	2,536	2,658	2,496					
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,511,000	791,000	845,333	664,500	832,000					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	4,533	2,373	2,536	2,658	2,496					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	青少年問題協議会		4	回	552
	子ども・子育て専門委員会		1	回	66
	未成年の飲酒喫煙防止等に関する小委員会		5	回	228
	その他	( )			0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	133.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	116.9
		「子ども・子育て専門委員会」と「未成年の飲酒喫煙防止等に関する小委員会」を開催したため、当初予算を超過した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		開催の必要性を再検討し、今日的課題について検証するため、専門委員会及び小委員会を設置・開催した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和30年に杉並区の附属機関として青少年問題協議会を設置した。青少年の犯罪は、戦後、昭和26年・39年・58年をそれぞれピークとする3回の波があった。ここ数年は、犯罪の低年齢化、凶悪化の傾向にある。このため、青少年健全育成を目指す取り組みは、引き続き必要である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年の飲酒喫煙等の非行行為の防止策として、中高生の居場所づくりが重要項目として提起されている。					
	今後の予測	近年、青少年による凶悪な犯罪が社会問題となっている。今後は情報化が一層進み、青少年を取り巻く環境も有害情報の氾濫などが予測される。またインターネットや携帯電話を使った新たな犯罪の増加や犯罪の低年齢化が進むなど、青少年の健全育成のためのさらなる対応が必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：青少年の指導、育成、保護などについて様々な立場から子どもたちの現状を報告し、審議することにより、地域全体で青少年の健全育成を図っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容：効率的な検討を行うため、引き続き、課題に応じた、小委員会や専門委員会をつくるなど、審議の方法を工夫するとともに、身近に青少年問題に携わっているなど委員の人選にも工夫を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由：附属機関の運営であり、受益者負担はなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由：コストのほとんどは委員への報酬である。他の類似の附属機関に比べても妥当である。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	理由または具体的内容：委員は地域の青少年健全育成団体、子育て支援団体などから代表である。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 青少年をめぐる問題は多岐にわたっているが、審議の方法を工夫することなどにより、会議をより有効なものにする。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年表彰				整理番号	385		枝番号					
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	375			
係名					青少年係			上位施策名		No				
予算事業名					青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区青少年表彰要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び主にそれらで構成された団体		(2)							
	活動指標名(式)				(1) 表彰者数		(2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 善い行いをした青少年、及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げる。					
成果指標名(式)				(1) 表彰者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区内非行件数 (2)						
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		人・団体	28		18		100		44		100		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		件	491		411				366		345		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	238		358		364		199		319	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.45	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.10	0.10	0.10		0.10
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,047		1,820		1,812		906			906
		非常勤職員分		千円	0		0		0		289			289
	総事業費 + +		千円	4,285		2,178		2,176		1,394		1,514		
	単位あたりコスト( - )÷		円	153,036		121,000		21,760		31,682		15,140		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	4,285		2,178		2,176		1,394		1,514			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		表彰式						1	回	199				
		その他 ( )								0				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	44.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	54.7
被表彰者数が予定数より少なかったため。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
より多くの善い行いをを行った青少年が表彰されるよう、表彰要領の見直しを行った。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっている。また、平成18年度より都立高校で奉仕の時間が授業に取り入れられる予定である。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	青少年が社会に参画し、相互に支えあうような社会を目指すための奉仕活動等が活発になり、善行表彰の意義が高まっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 善行の表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 善い行いをした青少年がより多く推薦されるよう推薦について周知の方法を工夫する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区が表彰するものであり、受益者負担にならない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 被表彰者数に上限を設けていないため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 善い行いをした青少年が、より多く推薦されるよう、18年度から募集要項を配布する時期を早める。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・対象者は善い行いをした青少年であり、表彰要件をこれ以上広げるとは難しい。 ・より多くの青少年を推薦してもらえるように、周知方法等を工夫する。				



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年育成委員会助成				整理番号	386		枝番号					
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	377			
係名					青少年係			上位施策名		No				
予算事業名					青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		31年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱							
	17青少年育成委員会						(2)							
							(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
各青少年育成委員会からの申請を審査し、事業費の一部として予算の定める範囲内で補助金を交付する。また、各青少年育成委員会及び杉並区青少年育成委員会会長連合会に対し、事業についての相談、連絡調整等、活動の側面的な支援を行う。						育成委員会が行う事業を通して子ども達が健やかに育つ環境をつくる。								
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 委員数						(1) (代)非行数								
(2) 青少年育成委員会の事業参加者数						(2)								
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	908		895		934		934		907			
	活動指標(2)	事業	107,072		126,431				128,479		129,000			
	成果指標(1)	人	491		411				366		345			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	15,281		15,956		15,911		15,920		16,216		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0		0			
	(内)委託費	千円	0		0		0		0		0			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.79	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.50	0.10		
	人件費	千円	7,105		6,370		6,342		6,342		4,530			
	非常勤職員分	千円	0		0		0		0		289			
	総事業費 + +	千円	22,386		22,326		22,253		22,262		21,035			
	単位あたりコスト( - )÷	円	24,654		24,945		23,825		23,835		23,192			
	財源	千円	0		0		0		0		0			
	国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0		0			
特定財源計 +	千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -	千円	22,386		22,326		22,253		22,262		21,035				
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み	内 容						規模		単位	事業費(千円)				
	青少年育成委員会助成						17		団体	15,250				
	その他 (研修会の実施、会長会の開催)									670				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	100.1
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	中高校生に対する理解を深めるため、育成委員会委員が中高校生と意見交換をする研修を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年人口(0~29歳) H10 182,122人 H13 173,159人 H15 168,158人 H17 159,432人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	有害な情報の氾濫や青少年が凶悪な犯罪に巻き込まれる事件の発生など、青少年を取り巻く環境はますます悪化している。子ども達が安全に健やかに育つ環境づくりを進めていくために、地域社会の総力を結集した青少年育成委員会が地域で果たす役割がより一層重要となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:各青少年育成委員会の事業には多くの参加者があり、子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会になっている。また、環境パトロールなど子どもたちが安全に育つ環境づくりを進めている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:これまで以上に地域や子どものニーズに的確に対応した事業内容になるよう働きかけるとともに、活動内容を周知していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:育成委員会の活動はボランティアであり、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容:補助金のみを財源として運営するのではなく、参加費を取るなど参加者に応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかける。また、現在の活動内容を見直し、効果的な事業を実施するよう働きかける。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各青少年育成委員会の事業がこれまで以上に地域のニーズに的確に対応したものになるような研修を実施する。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 青少年育成委員会の活動が地域住民に十分に理解されていないため、地域におけるPR活動が必要である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人祝賀				整理番号	387		枝番号								
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	378						
係名					青少年係					上位施策名		No					
予算事業名					青少年育成					コード		39550		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 「成人祝賀のつどい」実施要綱										
	該当年度に20歳を迎える区民						(2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				「成人祝賀のつどい」を企画・運営する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 新成人が、社会の一員としての自覚を持ち、社会人として自らの力を発揮する。										
活動指標名(式)				(1) 出席者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
				(1) 出席者数		(2)		(1) (代)出席者数/対象者数									
				(2)		(2)											
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)		人		2,580		2,518		2,518		2,475		2,475				
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		%		43		44		44		46		46				
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円		6,932		6,788		7,011		6,535		7,577		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円		0		0		0		0		0				
	(内)委託費		千円		1,995		3,192		3,560		3,246		4,061				
	職員数(常勤   非常勤)		人		0.79   0.00		0.70   0.00		0.70   0.00		0.65   0.00		0.50   0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円		7,105		6,370		6,342		5,889		4,530			
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		289			
	総事業費 + +		千円		14,037		13,158		13,353		12,424		12,396				
	単位あたりコスト( - )÷		円		5,441		5,226		5,303		5,020		5,008				
	財源	受益者負担分		千円		0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円		0		0		0		0		0			
特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0					
差引:一般財源 -		千円		14,037		13,158		13,353		12,424		12,396					
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位		事業費(千円)					
		成人祝賀のつどいの実施						1		回		6,535					
		その他 ( )										0					

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	98.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	93.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	杉並公会堂改築に伴い、中野サンプラザホールを利用したため、会場使用料及び付加機器などの経費がかかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	成人祝賀のつどいの対象者は、減少の傾向にある。 対象者数 H5 9,705人 H10 7,589人 H15 6,061人 H17 5,410人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	より多くの出席者が入場できる実施施設を確保するため、つどいの実施日を成人の日の前日としたが、つどいの終了後他自治体の友人と一緒に祝うことができないなどの苦情があった。				
	今後の予測	成人式のあり方が全国的に問題となっている。同窓会のような雰囲気を求める新成人の声と厳粛なセレモニーとの調和をどう図るかが課題となっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 社会の一員としての自覚を持った青少年が増加することは、子どもの育成環境をよりよくすることにつながる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: コンサートの演目等を工夫し、成人のつどいの参加者を増やす。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 新成人を祝い励ますという事業の性質上受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 記念品の配布を止めるなど、既に経費の削減を図っている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 平成18年度から杉並公会堂で成人祝賀のつどいを実施するが、午前午後の2回公演となるため、会場内外の警備の委託を増やすなどし、安全に式を実施する必要がある。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度から、杉並公会堂で午前・午後の2回公演となる成人祝賀のつどいを安全に実施する。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並公会堂ホールの客席数が、2回公演をしても参加予想人数に足りないため、立見等に対応せざるをえない。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 現在職員が対応している警備等を精査し、可能なものについては委託をしていくため。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	ボーイスカウト・ガールスカウト共催分担金	整理番号	388	枝番号	
担当部課名	保健福祉部児童青少年課	コード	092713	連絡先電話番号	4402
				昨年度整理番号	379
係名	青少年係	上位施策名			No
予算事業名	青少年育成	コード	39550	子どもの育成環境の整備	
				28	

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区後援名義等使用承認事務取り扱い要領		
	日本ボーイスカウト東京連盟杉並地区、ガールスカウト東京都支部杉並地区	(2)		
		(3)		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
ボーイスカウト・ガールスカウトが区内で行っている青少年健全育成事業を共催し、予算の範囲内で分担金を支出する。	ボーイスカウト、ガールスカウトが行う事業を通し地域で青少年が健全に育つ			
活動指標名(式)	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(1) 事業開催数	(1) (代)非行数			
(2) 参加者数	(2)			

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	回	3	3	3	3	4							
	活動指標(2)	人	397	346	400	355	480							
	成果指標(1)	人	491	411		366	345							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	315	315	315	315	635	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標が活動指標(参加者数)になっていたため(代)非行数に変更した。						
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0							
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.11   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00	0.05   0.10	0.05   0.10							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	989	910	906	453							453
		非常勤職員分	千円	0	0	0	289							289
	総事業費 + +	千円	1,304	1,225	1,221	1,057	1,377							
	単位あたりコスト( - )÷	円	434,667	408,333	407,000	352,333	344,250							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0							0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0							0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	1,304	1,225	1,221	1,057	1,377							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	ボーイスカウト共催分担金(歌とゲームの教室)		1	回	153
	ボーイスカウト共催分担金(指導者講習会)		1	回	102
	ガールスカウト共催分担金(ゲームとマスコットづくり)		1	回	60
	その他	( )			0

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	88.8	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度より学校五日制が実施され、青少年の活動の場としての役割が大きくなっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	地域社会との接触が希薄になりがちな現代の青少年にとって、奉仕活動や、積極的に社会への参加を促すような青少年健全育成事業の必要性は高まっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由: 17年度は青少年が興味を持って参加し実践に使える防災活動をゲームにして実施するなど、子どもが地域で活躍できるきっかけを提供している。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )		理由または具体的内容: より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫する			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 事業を共催で行っており、既に応分の負担をしている。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容: 事業を行うための最低限の金額である。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )		協働等による成果と課題			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の周知方法などを工夫し、より多くの子ども達が参加するようにしていく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 平成18年度は共催事業である、4年に一度のボーイスカウトのジャンボリーがあったため。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の社会参加・参画の促進				整理番号	389		枝番号					
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	380				
係名 青少年係					上位施策名				No					
予算事業名 青少年育成					コード	39550		子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) コースプロジェクトすぎなみ設置要綱									
	中学1年生から18歳までの青少年				(2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 青少年の主体性や社会性を育み、社会参加の促進を図るとともに、区の青少年施策について意見を述べる。また、青少年の社会参画促進事業・自主企画事業を実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 青少年が自身の力を発揮し、健やかに成長する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 自主企画等事業数				(1) (代)非行数										
(2) 委員会開催回数				(2)										
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	回	5	4	3	3	3	3						
	活動指標(2)	回	18	16	24	30	24	24						
	成果指標(1)	人	491	411		366	345							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	242	974	957	985	998	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標が活動指標(参加者数)になっていたため、(代)非行数に変更した。						
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0							
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.56   0.00	0.60   0.00	0.60   0.00	0.60   0.00	0.60   0.00							0.45   0.10
	人件費	千円	5,037	5,460	5,436	5,436	4,077							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	289							
	総事業費 + +	千円	5,279	6,434	6,393	6,421	5,364							
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,055,800	1,608,500	2,131,000	2,140,333	1,788,000							
	財源	千円	0	0	0	0	0							
	国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0							
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -	千円	5,279	6,434	6,393	6,421	5,364								
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
17年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)				
	中高校生と大人のフォーラム							1	回	104				
	中学生対抗クイズ大会							1	回	44				
	その他 ( 定例会、区長への提案等 )									837				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	125.0	17年度予算執行率%	102.9
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成17年12月に実施した「区長への提案」は、青少年問題協議会の場で行い、青少年にかかわりのある地域団体の代表者にも提案を聞いてもらい、意見をもらうなどした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	委員数の推移 H14 17人 H15 20人 H16 27人 H17 27人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	青少年が自主性、自立性、社会性を高め、健やかに育つためには、子どもの頃からの社会とのつながりづくりが大切なことから、社会参加参画の機会の提供はますます重要になっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 中高生が区の青少年施策に意見を述べるなど、子ども自身が子どもの育つ環境について考えている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: ユースプロジェクトすぎなみを実施する事業により多くの委員以外の子どもの参加を図るなど、子どもの社会参加参画を全区的に広げていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 事業の性質上、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 必要最小限のコストで運営しているため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 学校行事等で忙しく、子どもたちの日程調整が難しい				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委員自らが会議を進め、積極的に区の青少年施策に対して意見を述べたり、事業を企画・実行できるよう支援していく。より多くの子どもたちが、ユースプロジェクトすぎなみの活動や企画する事業に参加するよう、周知の方法を工夫する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	委員の能力向上などのための研修会の開催、他団体との交流などを新たに取り入れる。				



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の自立促進				整理番号	390		枝番号		
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			コード	092713	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号		
係名	青少年係			上位施策名				No			
予算事業名	青少年育成			コード	39550		子どもの育成環境の整備				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区子ども・子育て行動計画						
	区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年				(2)						
	区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年を対象にした、就労意識を啓発するような講座を開催する。また、自己肯定感の大切さを伝える冊子を当事者である青少年の声を取り入れながら作成・配付する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 青少年が自立し、社会の一員としての自覚を持ち、自身の力を発揮し社会で活躍する。							
活動指標名(式) (1) 事業開催数 (2) 冊子配布数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区内非行数 (2) (代)区内犯罪数							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回		5	4	5				
	活動指標(2)		冊		7,000	3,500	4,000				
	成果指標(1)		人	491	411		366				
	成果指標(2)		人	10,752	8,993		8,614				
総事業費・コスト把握	事業費		千円		819	856	3,731	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 18年度は、教育委員会社会教育スポーツ課から事業が移管されたことや新規事業の実施を予定しているため、事業費、職員数が大幅増となっている。			
	(内)投資的経費等		千円		0	0	0				
	(内)委託費		千円		0	0	2,650				
	職員数(常勤   非常勤)		人				0.05   0.10			0.60   0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0			453	5,436
		非常勤職員分		千円	0	0	0			289	578
	総事業費 + +		千円	0	0	819	1,598			9,745	
	単位あたりコスト( - )÷		円			163,800	399,500			1,949,000	
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0			0	0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0			0	0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	819	1,598	9,745				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			自己肯定感の大切さを伝える冊子の作成				3,500	冊	463		
			16歳からのハローワーク事業				2	日	235		
			いのちの大切さを伝える講座				1	回	119		
			その他 ( 事務費 )						39		

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	80.0	活動指標(2)の17年度達成率%	50.0	17年度予算執行率%	104.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	様々な職業の人の話を聞く「16歳からのハローワーク事業」を取り込み、自分自身や就労について考えるきっかけとなるジョブスタート支援事業を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ニート、フリーターの増加が社会問題となっている。 若年無業者数(15～34歳の非労働力人口) H14 国勢調査 東京都約88,000人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	ニート、フリーターの増加は、経済活動や年金など社会保障制度に影響を及ぼすほか、未婚化、晩婚化、少子化などを一層促進する恐れがあることから、若者の自立支援の必要性がより高まっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 青少年が自立し、自身の力を発揮できるようになることは、健全やかな成長につながるものである。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 多くの青少年が事業に参加できるよう、周知方法を工夫する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 経済的な理由で参加ができないなどの青少年をつくらないようにするため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 講師謝礼等の最低限の費用の計上である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 自己肯定感の大切さを伝える冊子の原稿を、ユースプロジェクトすぎなみ委員に書いてもらい、子どもが理解しやすい内容の冊子となった。				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より多くの青少年が事業に参加できるよう、周知を図る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活マナー・しつけの普及啓発				整理番号	391		枝番号		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号		
係名		青少年係			上位施策名			No			
予算事業名		青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区子ども・子育て行動計画						
	区内の子どもとその保護者				(2)						
	区内の子どもとその保護者				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
人間性を高めるための規範教育の大切さや、自分と同様に他者も大切であることなどを学ぶことを目的とした杉並しあわせ文庫を、学校へ配布したり、朗読会を開催したりするなどし普及する。				次代を担う子どもが、社会性を育み健やかに成長する							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 配付数(作成数)				(1) (代)非行数							
(2) 朗読会開催数				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画		実績					
指標	活動指標(1)	冊			3,500		5,000		1,500		
	活動指標(2)	回			1		2		2		
	成果指標(1)	人	491	411			366		345		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			20,545		20,422		7,026	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							0		
	(内)委託費	千円							4,188		
	職員数(常勤   非常勤)	人			0.20	0.00	0.20	0.00	0.20		0.10
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,812		1,812			1,812
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0			289
	総事業費 + +	千円	0	0	22,357		22,234		9,127		
	単位あたりコスト( - )÷	円			6,388		4,447		6,085		
	財源	受益者負担分	千円			0		0			0
		国・都等からの支出金	千円			0		0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	22,357		22,234		9,127		
受益者負担比率 ÷	%			0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	すぎなみしあわせ文庫第1巻「ココロマメ」アニメの作成			1	作	12,000					
	すぎなみしあわせ文庫第2巻編纂委員会運営			5	回	4,300					
	すぎなみしあわせ文庫第1巻印刷配付			1	回	3,183					
	朗読会の開催			2	回	500					
	その他 ( 事務費 )					439					

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	142.9	活動指標(2)の17年度達成率%	200.0	17年度予算執行率%	99.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	第2巻はアニメの作成は行わないことにしたため、予算を削減した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	読本を学校等に配付するだけでなく、効果的な活用方法を考えたほうがよい。朗読会の単位をもう少し小さくして回数を増やし、より多くの子育て中の保護者に聞いてもらいたい。				
	今後の予測	近年、家庭や地域の教育力の低下が懸念されており、規範教育の重要性が高まっていくものと思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 子ども自身やその保護者が社会規範の大切さや、自分と同様に他者も大切であることなどを学ぶことは、子どもの育つ環境をよりよいものにすることにつながっていく。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 朗読会やアニメの上映会などにより多くの子どもとその保護者の参加を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: すぎなみしあわせ文庫第1巻は区政資料室で1冊700円で販売している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 朗読会を地域の子育て支援団体などに呼びかけて自主的に実施してもらう。				
	(5) 協働等による成果と課題					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新たにすぎなみしあわせ文庫を編纂するのではなく、既に作成した1、2巻、ココロマメアニメなどを活用して、規範教育の大切さや、自分と同様に他者も大切であることを啓発していく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	新たなすぎなみしあわせ文庫の編纂、アニメの作成は行わないため。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	児童青少年センター・児童館施設維持管理及び運営	整理番号	443	枝番号	
担当部課名	保健福祉部児童青少年課	コード	092701	連絡先電話番号	4402
係名	管理係	上位施策名	No		
予算事業名	児童館等維持管理	コード	44050	子どもの育成環境の整備	28

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	41 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体	(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ・適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とする。 ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。		
活動指標名(式)	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館)	(1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数			
(2) 開館日数(センター及び児童館)	(2) 年間修繕件数(センター及び児童館)			

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
指標	活動指標(1)	人	1,317,935	1,331,694	1,398,418	1,352,409	1,400,000	1,400,000	1,400,000	96.6		
	活動指標(2)	日	13,890	13,808	16,189	13,501	16,189	16,189	16,189	83.4		
	成果指標(1)	人	95	96	86	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)	件	275	280	230	197	230	230	230	85.7		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	395,537	450,602	490,212	480,821	529,963	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円		149,349	156,096	142,311	145,136					
	職員数(常勤   非常勤)	人	103.50   40.60	103.50   33.60	100.00   33.60	107.40   40.80	104.70   38.80					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	930,879	941,850	906,000	973,044					948,582
		非常勤職員分	千円	112,015	96,768	97,104	117,912					112,132
	総事業費 + +	千円	1,438,431	1,489,220	1,493,316	1,571,777	1,590,677					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	1,091	1,118	1,068	1,162	1,136					
	財源	受益者負担分	千円	2,755	4,545	917	6,476					3,565
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	2,755	4,545	917	6,476	3,565					
差引: 一般財源 -		千円	1,435,676	1,484,675	1,492,399	1,565,301	1,587,112					
受益者負担比率 ÷	%	0.2	0.3	0.1	0.4	0.2						

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	パートタイマー報酬		89	人	163,544
	施設管理費(委託)		49	施設	140,825
	臨時職員賃金		663	人	28,856
	施設修繕費		49	施設	25,865
	その他 ( )				121,731

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	96.7	活動指標(2)の17年度達成率%	83.4	17年度予算執行率%	98.1
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	設備保守管理契約落札差金及び実績による残が発生した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害児・乳幼児親子の利用しやすい環境整備を課題としており、平成17年度は浜田山児童館外数館の乳幼児室に空調機を設置した。平成18年度も空調機を設置を予算要求している。また、トイレの洋式化を数館で行った。しかし、まだまだ障害児・乳幼児親子の利用しやすい環境への整備が必要である。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められている。				
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要である。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい	理由: 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容: 施設、設備の老朽化により多くの箇所で大規模修繕が必要である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴い維持経費がかかっている。				
	(5) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 設置から30年以上たっている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	一部実現している( ^ )		協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	企業・個人事業者( ^ )				
	(3) 協働等の形態	委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 児童館はもともと障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となる。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的・計画的に改修する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の改修が比較的大規模になるため、予算措置・児童館の休館(学童クラブの代替施設探し)・部屋の兼用が難しく拡張ができない等の問題がある。早期に個別の館ごとに、施設のあり方についてさまざまな観点から詳細に検討し実行していく必要がある。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にある。また、学童クラブの登録制や乳幼児親子、障害児の利用しやすい施設整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設定が必要となってきている。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となる。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター事業(中高生事業)				整理番号	445		枝番号					
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092709		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	433			
係名		事業係				上位施策名		No						
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550		子どもの育成環境の整備		28					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第1～4, 7, 35及び40条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		中高生の自由な居場所としての環境を整え、多様な分野における自主的・主体的な活動を支援する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 中高生が、自由な居場所として施設を利用しながら、仲間との交流や自主企画事業の実施を通じて、自主性・社会性を身につけ自己実現を図る。									
活動指標名(式)		(1) 講座・講習会開催回数及び自主企画実施回数 (2) 自主企画スタッフ数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講座・講習会参加者数及び自主企画参加者数 (2) 自主企画スタッフ数 ÷ 自主企画事業数										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		回	522		460		450		507		500	101.4	
	活動指標(2)		人	449		630		600		1,180		1,200	84.3	
	成果指標(1)		人	5,937		5,142		5,000		4,810		4,800	100.2	
	成果指標(2)		人	35		11		12		12		12	103.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,428		4,844		5,762		5,164		6,062	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円					0						
	(内) 委託費		千円			408				397		552		
	職員数(常勤   非常勤)		人	9.80	7.00	11.00	8.00	11.00	7.00	11.40	9.90	11.10		9.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	88,141		100,100		99,660		103,284			100,566
		非常勤職員分		千円	19,313		23,040		20,230		28,611			26,588
	総事業費 + +		千円	112,882		127,984		125,652		137,059		133,216		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	216,249		278,226		279,227		270,333		266,432		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -		千円	112,882		127,984		125,652		137,059		133,216			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費(千円)			
		ホール、ロビー系事業									717			
		音楽、映像系事業									692			
		オールラウンド系事業(国際交流、ボランティア他)									371			
		体育・工芸・調理系事業									260			
		その他 ( )									3,124			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	112.7	活動指標(2)の17年度達成率%	196.7	17年度予算執行率%	89.6
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		講習会、講座等の既存事業を精査し、利用者ニーズの低いものを取りやめるなど、スクラップに努め、自主企画の育成にさらに努めた。その結果、自主企画事業は増加し、かかわるスタッフ数も大幅に増加し数字に表れている。成果指標(2)の自主企画1回当たりのスタッフ数12人は、中高生の活動としては決して少なくない					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年9月開設以来8年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は6.3～6.7万人前後で推移している。中学生・高校生について見ると、少子化により8年間で約4千人強の人口減が見られるなか、年間平均約4.5～5万人の利用者数を維持しており、利用率の相対的な増加傾向が続いている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	中学生から次のような意見が寄せられている。「あまり干渉されずに自由に過ごしたり、音楽、スポーツ、ダンスなど好きな活動に打ち込める」「講座の内容もリクエストに答えてくれて、アカペラやボイストレーニングなど新しいものを取り入れてくれるのがうれしい」「グループや中高生委員会等で考えた自主企画が実現でき、手ごたえを感じる」「プロのプレーヤーにバスケットを教わる自主企画など、ゆう杉だから実現できた」					
	今後の予測	中学生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての役割は、今後も増していくと思われる。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化が求められる。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者へのケアについて、多様な中・高校生の受入れが可能な数少ない社会的施設として、その期待が高まるものと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 中・高校生の居場所として利用は活発化し、17年度の数値に表れているとおり自主的活動の充実も見られ、子どもの育成環境整備への貢献度は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 中高生の自主活動へのかかわりをさらに促進するため、事業の内容をさらに工夫し、新しい手法を検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 子どもの健全育成をめざす児童厚生施設としては、現在行っている材料費等実費徴収が妥当なところと考える。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 自主企画実現支援に力点を移し、従来の講座・講習の見直しを引き続きすすめながら、新分野の取り組みにも取り組む。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題		ボランティアや外部講師の導入により運営している事業多数あり。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主活動推進の指標のひとつである登録グループの増加に取り組み、団体利用のさらなる活発化を図る。自主企画実現支援の姿勢を継続する。中・高校生運営委員会への支援を強化し、自立的な会運営のための力量をあげるとともに、施設運営への意見表明や参画の取り組みを充実させる。中・高校生の現状を捉え、課題やテーマに応じた啓発事業の充実に引き続き努める。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	中高生の自主企画実現支援に継続的に取り組み、従来の講座・講習の見直しをさらにすすめる一方、不登校児対応、日常的な相談活動及び進路選択・職業体験支援事業等、新分野の取り組みをさらに推進する。



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域中高校生事業				整理番号	446		枝番号		
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			コード	092705	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	434	
係名	児童館運営係			上位施策名				No			
予算事業名	児童健全育成事業			コード	43550		子どもの育成環境の整備			28	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区地域中・高校生委員会設置要領						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 中・高校生の地域における居場所づくり、意見表明、社会参画の実現を目的とした地域中・高校生委員会を7か所の児童館に設置し、委員によるより使いやすい児童館のあり方の検討、自主企画、児童館と地域団体の共催事業への参画等を実施するとともに、委員会の要望に基づく運営の改善や中・高校生対象の事業に取り組む。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 中・高校生が児童館を居場所や自主活動の拠点として活発に利用するとともに、意見表明や社会参画に意欲的に取り組み、自主性や社会性を高める。						
	活動指標名(式) (1) 委員会延べ参加者数 (2) 委員会自主企画及び中・高校生対象事業実施回数(全児童館)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自主企画及び中・高校生対象事業参加者数(全児童館) (2) 中・高校生児童館利用者数(全児童館)						
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
							計画	実績			
指標	活動指標(1)		人	724	891	700	664	700	700	700	94.9
	活動指標(2)		回	947	1,190	1,130	1,251	1,200	1,200	1,200	104.3
	成果指標(1)		人	6,496	8,862	8,000	8,277	8,000	8,000	8,000	103.5
	成果指標(2)		人	48,625	48,934	48,000	43,370	44,000	44,000	44,000	98.6
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,221	544	1,462	156	1,429	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	3.80   1.00	5.80   1.00	5.80   1.00	6.00   1.20	5.90   1.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	34,177	52,780	52,548	54,360	53,454		
		非常勤職員分		千円	2,759	2,880	2,890	3,468	3,468		
	総事業費 + +		千円	38,157	56,204	56,900	57,984	58,351			
	単位あたりコスト( - )÷		円	52,703	63,080	81,286	87,325	83,359			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	38,157	56,204	56,900	57,984	58,351				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		中・高校生むけ事業							79		
		地域中・高校生委員会運営							77		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	94.9	活動指標(2)の17年度達成率%	110.7	17年度予算執行率%	10.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業の開始から4年が経過し、活発に活動している委員会がある一方で、委員が集まらず、積極的な活動ができていない委員会も生じている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年委員が協力員として活動に関わっているが、事業への評価は高い。委員の保護者からも、参加できてよかったという声が寄せられている。					
	今後の予測	中・高校生の育成や社会参画についての関心は高く、中・高校生自身の要望にこたえながら、居場所づくりや自主活動、地域の中での活躍の機会等を広げていくことが求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 中・高校生の意見表明や社会参画、自主活動を促進するとともに、活動を通して自主性、社会性を育成することになる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 7か所それぞれに特徴のある活動を行っているが、委員数や活動量は委員会によって成果の差がある。少ないところで委員や活動を増やし、支援を強めることで、成果を向上させることができる。 理由または具体的内容: 中・高校生へのはたらきかけにより委員数を増やし、委員の意見や発案を尊重しながら、より適切で活気ある活動内容となるよう支援する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 対象が中・高校生であり、目的や活動内容からも受益者負担は不適切である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 中・高校生向けの設備や事業を整備していく上での一定の予算措置が今後も必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 地域の青少年委員が委員会活動を事務局協力員として支援してくれたり、地域のまつりの場で中・高校生委員会の企画を実施したりするなど協力関係が広がっている。中・高校生の活動を、地域の区民やグループが支えていく方向で、協働をすすめていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 これまでの活動を踏まえ、委員会の存在がより多くの同世代や地域の人々に認められるような活動の支援を行っていく。また、中高生委員会にふさわしいやり方で、地域社会に参画する方法をそれぞれの事務局で検討し、具体化していく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既存の児童館の整備範囲では、スペースや設備の点で限界がある。中・高校生専用の利用時間帯や部屋の整備等を既存の児童館運営の中で工夫していくことが必要であるが、より根本的には専用の活動拠点のあり方を検討していく必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 予算については現状の範囲で、活動内容について工夫していく。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号	449		枝番号				
担当部課名 保健福祉部児童青少年課		コード	092701		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	437				
係名 管理係		上位施策名						No					
予算事業名 児童健全育成事業		コード	43550		子どもの育成環境の整備				28				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 18歳未満の児童及び保護者		(1) 児童福祉法第1～7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規程										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 自由利用、定例活動(工作・調理等)、小型特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会等)、大型特別行事(まつり・キャンプ等)、子育てネットワーク事業(地域連携・シンポジウム等)、ゆうキッズ事業等による子育て支援活動		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が培われ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。										
	活動指標名(式) (1) 児童館年間延べ行事実施回数 (2) 児童館年間延べ行事参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 行事参加率(年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用者数) (2)										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	10,642		18,213		18,300	19,750	19,750	19,750	100.0	
	活動指標(2)		人	252,917		488,384		490,500	497,948	500,000	500,000	99.6	
	成果指標(1)		%	30		40		40	40	40	40	100.0	
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,613		25,485		24,800	25,160	24,674	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0					
	(内)委託費		千円						64	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	40.35	12.80	38.00	11.80	40.70	10.80	39.40	14.30	38.40	13.60
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	362,908		345,800		370,370	356,964	347,904		
		非常勤職員分		千円	35,315		33,984		31,104	41,327	39,304		
	総事業費 + +		千円	398,223		379,784		401,474	423,451	411,882			
	単位あたりコスト( - )÷		円	37,420		20,852		21,938	21,441	20,855			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	500		1,510		0	1,510	0		
特定財源計 +		千円	500		1,510		0	1,510	0				
差引:一般財源 -		千円	397,723		378,274		401,474	421,941	411,882				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)					
		定例活動(工作、調理等)						14,187					
		大型特別行事(まつり、キャンプ等)						8,696					
		子育てネットワーク事業(地域連携、シンポジウム等)						2,277					
		その他 ( )						0					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	107.9	活動指標(2)の17年度達成率%	101.5	17年度予算執行率%	101.5
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(隔年1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成2年=84,706人、平成7年=69,662人、平成12年=62,023人、平成17年=59,804人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子どものニーズに基づく多様なプログラム、ゆうキッズ事業をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対し、高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実また、障害児への対応の充実が求められている。				
	今後の予測	問題を抱えている子どものみならず、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となる。子育て、子育ての困難への対応、さらには虐待や養育困難家庭への対応が求められる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由:児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増している。とりわけ地域子育てネットワーク事業の充実によって、子どもと子育てを支える地域社会づくりに貢献できると考える。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )		理由または具体的内容:現状の事業費でも、事業内容の工夫によってある程度成果を向上させることができる。  理由または具体的内容:事業内容を精査し、より効果的な内容に改善していく。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容:行事にかかる経費のうち、参加者に利益が還元されるものについては、既に一部受益者負担を導入している。また、児童館行事の参加対象者は小学生が主体であることから、今以上の受益者負担は困難である。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容:ニーズは多様化あるいは増大しており、一定の事業費が必要である。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )		理由または具体的内容:すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やボランティア、子育て支援グループの協力により実施されている。今後は地域の子どもと子育てを支える力を醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向である。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 <b>養育困難家庭の支援及び子育てネットワークの再構築</b> 区民・NPOとの協働を図る    児童館事業に特色(乳幼児対象のゆうキッズ先行館、障害児利用促進重点館、中・高校生の利用促進重点館)を持たせ、多様化する区民ニーズに対応する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 各館の特色ある運営のため、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかる。NPOの発掘や、職員の研修にも一定の経費が必要である。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ運営				整理番号	452		枝番号			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092701		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	440	
係名				管理係		上位施策名				No		
予算事業名				学童クラブ運営		コード	43350		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		39年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第6条					
	親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの障害児						(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内47学童クラブにおいて共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性、協調性を促すよう援助指導を行う。また障害児の巡回指導を行う。		(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱					
活動指標名(式)				(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 共働き等により留守家庭となる児童に対し、放課後の保育の場を提供することにより、親が安心して働ける環境を整備するとともに、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。						
成果指標名(式)				(1) 入会希望児童の入会率 = 入会児童数 ÷ 入会児童申請数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入会希望児童の入会率 = 入会児童数 ÷ 入会児童申請数 (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	2,200	2,423	2,550	2,569	2,596	3,073	83.6		
	活動指標(2)		人	67	75	85	87	94	111	78.4		
	成果指標(1)		%	96	97	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,662	15,844	26,331	21,574	74,242	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 過去5年間学童クラブ待機児童数(各年4月1日現在) 平成13年度 49名 平成14年度 22名 平成15年度 30名 平成16年度 28名 平成17年度 0名			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	2,734	2,065	2,220	6,433	50,171				
	職員数(常勤   非常勤)		人	96.00   6.00	96.00   8.00	91.00   13.00	90.00   14.00	87.00   15.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	863,424	873,600	824,460	815,400	788,220				
		非常勤職員分	千円	16,554	23,040	37,570	40,460	43,350				
	総事業費 + +		千円	894,640	912,484	888,361	877,434	905,812				
	単位あたりコスト( - )÷		円	406,655	376,593	348,377	341,547	348,926				
	財源	受益者負担分		千円	66,946	70,464	84,809	75,821				82,757
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	66,946	70,464	84,809	75,821	82,757					
差引:一般財源 -		千円	827,694	842,020	803,552	801,613	823,055					
受益者負担比率 ÷		%	7.5	7.7	9.5	8.6	9.1					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		平成18年度からの業務委託開始に向けた準備					2	クラブ	5,354			
		登録制の本格実施					47	クラブ	0			
		その他 ( )							16,220			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.7	活動指標(2)の17年度達成率%	102.4	17年度予算執行率%	81.9
		民間学童クラブに対する補助金を計上していたが、補助を予定していたクラブは在籍人員が交付対象となる10名に満たなかったため、予算未執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		登録制を本格実施するとともに、平成18年度からの業務委託開始に向け、保護者説明、法人選定、引継ぎ等の準備を着実に進めた。 18年度は、業務委託のための経費を計上した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童数の減少傾向にも関わらず学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にある。このため、第二学童クラブの設置及び施設改修による定員増、学童クラブ登録制の実施(15年度から試行、17年度本格実施)、午後6時までの育成時間の延長や学校休業日の午前8時30分からの受入れを実施してきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもたちの安全・安心の面から、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内への移転を求める保護者の声が強いの。					
	今後の予測	共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は今後も増加が見込まれる。(21年度には、3000名を超える見込み)					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にある。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容：登録制の実施によっても、今後の需要増に対応できず、待機児童発生の可能性が極めて高い学童クラブがあるため、何らかの対応が必要となる。 理由または具体的内容：学童クラブによっては、施設改修によって対応できるが、こういった対応をとれない学童クラブについては、第二学童クラブの創設等での対応が必要となる場合もある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 当面、現行の利用料を継続する					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容： 学童クラブ運営を段階的にNPOなど民間の運営に委ねる。					
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題：17年度は、18年度からの業務委託開始に向け、準備を進めた。18年度は、委託を開始した新泉・松ノ木小両学童クラブに関する委託の検証をふまえ、平成20年度の委託方針(案)を策定し、区民・保護者に対する説明を開始する。					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も見込まれる学童クラブの需要増や多様化するニーズについて、児童館等のあり方検討会で平成18年12月を目途に検討を行っている。検討結果をふまえ、平成19年3月に具体化方針を策定する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 需要増に対応するためには、児童館の改修等による一定のスペースの確保不可欠である。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 19年度も登録児童数の大幅な増が見込まれるため(18年度：2,763名   19年度予測：2,918名、155名増)、登録人数に応じてパートタイマー等の人的措置が必要となる。						